

令和6年度関東農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定地区

コミュニティ・地産地消部門

No.	都道府県	市町村	地 区 名		取 組 の 概 要
4	栃木県	那須郡 那珂川町	小砂village協議会	 小砂環境芸術祭 (間伐立木による制作)	・棚田オーナークラブをスタートさせ、農業体験を含めた農家民泊に取り組み、首都圏の小中高校生1,000人を受入れ都市農村交流を取組む。 ・地域の女性たちの発案により、「お母ちゃんCafé」を立ち上げ、各種イベントで地元産食材を活用した食事を提供。 ・森林を含めた地区全体を美術館に見立て、地域を周遊するアートプロジェクト「小砂環境芸術祭」を開催。来訪者4,500人から8,000人に増加。 ・里山と森林を駆け抜ける「小砂トレイルランニング」を開催、首都圏を中心に300名が来訪などにより交流人口の増加に貢献。

個人部門

No.	都道府県	市町村	地 区 名		取 組 の 概 要
5	神奈川県	横浜市	菊子晃平	 農学校の集合写真	・耕作放棄地を借りて自然＆有機農園の再生を始め、現在12農園までに拡大。 6次化産業として、無農薬・無肥料の自然栽培で育てたさつま芋紅はるかを原料として、菊子農園のプライベートブランドの芋焼酎を販売。 ・都市(厚木市)、地方(湯沢市)、海外(ハワイ島)に農学校を同時開校し、都市、農村、海外と交流。神奈川県の農業高校生や大学生を湯沢農学校に派遣、厚木校の生徒をハワイ島に留学、ハワイ島の生徒は、秋田国際教養大学に留学し、その後起業。 ・農業を活性化するためには農業分野での起業が必要と感じ、農業・食・地方創生分野での起業家ビジネスコンテストを自ら実施し農業のビジネス感覚を養う場を提供。